

《巻頭言》 「高峰秀子と学びの世界」 短期大学部学長 平野 良明

第 49 回目の学位記授与式、そして卒業記念パーティーも終え、安堵して迎えた最初の日曜、北海道新聞朝刊(3月17日)の「卓上四季」に高峰秀子の名前を見つけました。

高峰秀子は大正生まれの亡父が鼯(ひいき)にしていた女優さんで、私が子どもの頃の昭和 20 年代から 30 年代にかけて、その名前をよく父の口から聞いていたものです。

「卓上四季」の記事は高峰秀子さんの自伝の内容によるもので、5 歳から子役でデビューし、小学校にも通えず、養母を始め多くの親族を養う立場で働きづめだった彼女が 13 歳で文化学院(東京)に入学した喜びを語る一説から始まっていた。

「電車の中には出勤するサラリーマンに混じって学生の姿もたくさんあった。『私も女学生なのよ、これから学校に行くんです。どうぞヨロシク』私はそう叫びたい思いを抑えるのがやっとだった。」喜びに満ち溢れて入学した女学校も、仕事は多忙を極め、結局は 1 年後に退学を余儀なくされたという。

希望はかなわなかったが、彼女の向学心は衰えず「私の周りには、善いもの、悪いもの、美しいもの、醜いもの、なにからなにまで揃っている。そのすべてが、今日から私の教科書だ。」とその言葉通りに勉強を重ねた彼女は、晩年文筆家としても名を残す人となったのです。

さて、本学学生の皆さん、とりわけ新入生の皆さんには学生になった喜びを自覚と共に感じ取っていることでしょう。

高峰秀子さんは学校には行けませんでした、皆さんには学びの時間が保証されました。

この貴重な青年期に、人や世の中の善・悪・美・醜や諸価値を教員や仲間と共に学ぶことができます。

皆さんが望み、疑問や課題に向き合えば、その向こうに自己形成の道が拓けます。学びに向かう心を「自由」に解き放ち、しかし、人の倫(みち)を外していないか常に「省み(自省)」て人や社会のための「自立」を目指す。本学の「建学の礎」を踏まえた学生生活の一つの基盤を、本図書館の活用において見出してください。皆さんの学びを助ける専門書も、文学作品や絵本や趣味の分野の本も、知の世界を彩(いろど)る総てが図書館にあります。

さあ、スマホは鞆(かばん)にしまい込んで、本の世界で真の「自己形成」を図りましょう。本学での学生生活で豊かな君の未来を拓きましょう。

学びの世界はきっと楽しいはずです。(引用：北海道新聞朝刊「卓上四季」2019.3.17)

Contents

・巻頭言	1 p
・新入生におすすめしたい本	2 p
・お知らせ	3 p
・2018 年(平成 30 年)後期 図書館利用状況について / イベント告知 / 編集後記	4 p

～新入生におすすめしたい本～



◇重松清『青い鳥』(新潮社) (913.6/SHI) ◇

主人公村内先生は、中学国語の非常勤講師だが、言葉がつかえてうまく話せない。でも先生は、大事なことを話す。ひとりぼっちの心にそっと寄り添い、本当にたいせつなことは何かをしてくれる物語。オススメは「青い鳥」「カッコウの卵」。(T)



◇村上龍『希望の国のエクソダス』(文藝春秋) (913.6/MU) ◇

日本の現状に絶望した中学生が北海道に独立国 ASUNARO を創る。ネットを駆使して日本の政治や大人の矛盾を痛快に刺激してくれる。1998年初出。ついでに2005年刊行『半島を出てよ』もどうぞ。2011年春に福岡が占領され慌てる政府を尻目に若者が動くのです。(T)



◇栗山英樹『稚心を去る』(ワニブックス) (783.7/KU) ◇

北海道日本ハムファイターズを率いて8年目になる栗山監督の選手への思いが詰まった一冊。指揮官として指導者として選手をリスペクトし、特に若い選手の力を引き出していく栗山流哲学が随所に溢れています。スポーツ指導学科で学ぶ学生には特にお奨め。(Y)



◇水野しづか『それしかないわけないでしょう』(白泉社) (E/YO) ◇

絵本なんて小さな子が読むものだ、と思っていませんか？確かに私も、自身の子どもに読み聞かせる時以外あまり手にしませんでした。けれど、この本を読んで「空想する楽しさ」を思い出し、凝り固まった考え方を反省するきっかけをもらいました。久しぶりに絵本に触れてみてください。新しい発見があるかもしれません！(H)



◇トミヤマ和也『大学1年生の歩き方』(左右社) (377.9/TO) ◇

"大丈夫、絶対に何とかなる"をコンセプトに、大学1年生の12ヶ月を月ごとに解説し、大学生活を楽しむポイントや、失敗した時の持ち直し方のヒントが沢山こめられた大学1年生のための本です。早めに出会えば学生生活が変わる(かもしれない)30タイトルの本・漫画・映画の紹介もされています。(T)



◇辻村深月『かがみの孤城』(ポプラ社) (913.6/TSU) ◇

学校に居場所をなくした7人の中学生が、「鏡の中の城」という非現実的な世界で、心を通わせていく話です。物語前半の伏線が見事に回収され、感動的なラストに繋がる本作は、普段本を読まない人でも思わず引き込まれる作品だと思います。10代から20代、子どもから大人へと変わる大学生の皆さんに是非読んでもらいたいです。(S)

お知らせ

◇第二閲覧室がリニューアル

2018年11月～12月、第二閲覧室のリニューアル工事が実施されました。絵本コーナーは本学教職員のほか、付属幼稚園教員の意見も取り入れ設計されました。約2倍に拡充されたスペースに読み聞かせコーナーを新設し、乳幼児が絵本を手に取りやすい低い棚に入れ替え、土足厳禁とし、「えほんのおへや」として生まれ変わりました。その他、PCコーナーの再配置、DVD・CD専用棚を新設、カーペット貼替、段差のバリアフリー化、ブラインドの全面設置等が実施されました。より明るく開放的になった第二閲覧室を是非ご利用ください。



◇図書館ボランティア募集中!

図書館では現在、学生のボランティアを募集しています。主な活動内容は返却された本を棚に戻す作業や書架整理、破損した本の修理のほか、書店でのブックハンティング参加やポップづくりなど。図書館の仕事や展示等の制作に興味がある方で、週に1回以上活動できる方を募集しています。

興味のある方は詳細をご説明します。まずは図書館へお越しください!

～図書館ボランティアから・活動を検討している方へメッセージ～

(観光ビジネス学科 Dさん / 現代文化学科 Kさん)

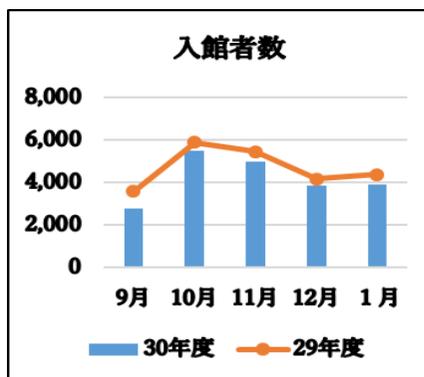
「図書館ボランティアの活動内容は、本を棚に戻す…など、それほど難しく作業ばかりなので誰でもできます。是非、お友達と一緒に図書館ボランティアに参加してみませんか？」



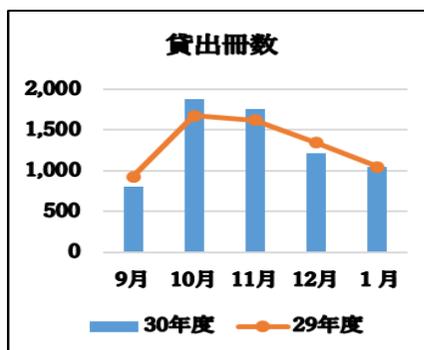
2018年（平成30年）後期図書館利用状況について

2018年度後期各月毎の図書館利用状況（入館者数と帯出冊数）は右のグラフの通りです。

後期の入館者数は20,334人で昨年比3,078人のマイナスとなっていますが、これは第二閲覧室が改修工事のため、約1か月間休館していたことが影響しています。



一方、帯出冊数は6,702冊で昨年比プラス80冊となっています。帯出冊数のうち、学生への帯出は3,621冊で、昨年比プラス4冊となっております。



イベント告知（前期）

- 4/16(火)～5/31(金)：新入生図書館ガイダンス（学科別）
- 6/3(月)～7/31(水)：図書館文献ガイダンス(ゼミ別)
- 6/21(金)～6/28(金)：リサイクルブック・フェア（本がなくなり次第終了）
- 7/1(月)：書評・評論コンクール募集開始（～10/31(木)まで）
- 7/16(火)：夏季長期貸出開始（～9/24(火)まで）

編集後記

新入生の皆さん、そろそろ新生活には慣れましたか？

図書館では学術的な本・雑誌・データベースはもちろんのこと、展示コーナーには「自己啓発本」や「ブックハンティング」、さらには「本屋大賞」、「DVD貸出ランキング」など娯楽的な資料も数多く所蔵しています。

皆さんの貴重な時間をぜひ図書館で過ごしてみませんか？(S)